

災害で大切な命を失わないために。

福島県相馬市に学び
一級建築士として思うこと

多摩区の災害リスク

大雨

平野部 河川の氾濫
内水氾濫※

※市街地に短時間で降った雨が、排水路や下水管の雨水処理能力を超えてあふれる、あるいは川の水位が上昇して雨水をポンプで川に流せず、市街地の建物や土地、道路などが浸水すること

大地震

震度6弱想定

丘陵部

丘陵部

平野部

土砂災害

り災世帯 19549世帯
死者 42人
負傷者 1206人
建物被害 7615棟

出典「川崎市地震被害想定」

日本の災害リスク ↓

今、日本列島は大地震が集中的に訪れる「地震の活動期」に突入

吉沢章子の提言

あなたにできること

知る

お住いや職場などの
地域特性と
災害種別に応じた
リスクを知る

- ハザードマップの確認
→裏面 吉沢章子オリジナルマップ参照
- 防災のご相談
→多摩区役所危機管理担当
TEL.044-935-3127

行政にできること

対策

「最悪」から逆算して
安全を
マネジメントする
「ガイドライン」を作る

- 県立高校、小中学校の校舎の活用
- 民間の高層マンションと協定を結ぶ
→例. 埼玉県戸田市
- 「一部屋耐震」の導入
→そこにいれば助かるスペースの確保

情報のフィードバックで精度を高める

地域住民 + 専門家の派遣
課題を発見するまちあるきの実施

それぞれの状況に合わせた パーソナル防災の構築へ



吉 沢 章 子 通 信

2019 春季号

確かめようあなたの住まい

水害

中野島
布田
登戸
登戸新町
宿河原
堰

菅地区

長尾
生田
枅形
東生田

土砂崩れ

西生田
寺尾台
栗谷
三田
東三田
南生田
長沢

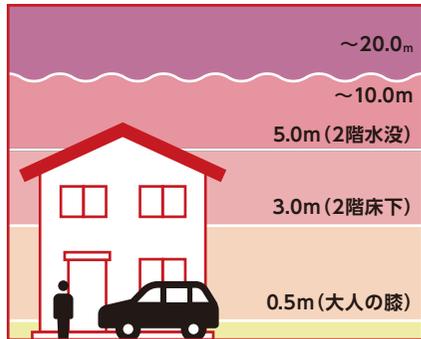
多摩川洪水ハザードマップ

川崎市ホームページよりダウンロードできます。大雨によって河川が増水し、堤防が決壊したりあふれたりする氾濫が発生した場合に、浸水が想定される範囲とその程度、及び地域の避難場所を示した地図です。

土砂災害ハザードマップ

川崎市ホームページよりダウンロードできます。土砂災害警戒区域の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報などを記載したものです。

浸水深の目安



吉沢 章子

洪水+土砂災害マップ



- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)**
河岸が侵食された場合に、家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)**
歌詞の氾濫が発生した場合に、標準的な木造家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。
- 土砂災害警戒区域(平成30年1月時点)**
土砂災害防止法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- 急傾斜地崩壊危機区域(平成30年1月時点)**
人家などに危害が生じる恐れがある区域で、急傾斜地法に基づき神奈川県が指定した区域です。
- アンダーパス・地下通路**
立体交差で掘り下げ式になっている道路および地下通路のこと
- カメラ画像** **水位計**

1 避難所 (●内の数字以上の階が使用可能)



吉沢 章子プロフィール

- 多摩区生まれ
- 東生田小学校・生田中学校・百合丘高校・東京YMCAデザイン研究所建築科 卒業
- 職歴: 菊竹清訓建築設計事務所・吉沢章子建築設計事務所・川崎市議4期
- 市議会: 議会運営委員会委員長・政策担当国会議座長
・[かわさき市こどもを虐待から守る条例] プロジェクトリーダー
・女性議員連盟「瑠璃の会」会長などを歴任
- 資格: 一級建築士 宅地建物取引士
- 趣味: ママサッカー・絵を描くこと



現場から 見たもの

A



災害対策は地歴から

明治時代、多摩川の氾濫後に祀られた菅地区の「たとうさま」を訪ねて、災害・洪水を絶つ、という意味。自然を正しく畏れ、地歴から学ぶことの重要性を実感。

B



プロ×プロで通学路まちあるき

多摩区道路公園センターが行ったまちあるきに同行。一級建築士の視点でリスクチェック。「プロとのまちあるき」の有効性を実証。

C



土石流発生現場へ

生田緑地内で土石流が発生した現場へ。警戒区域の現実、正しく避難するための想定とガイドラインの必要性を痛感。

吉沢 章子事務所 TEL 044-933-8018 / FAX 044-933-8032
214-0038 神奈川県川崎市多摩区生田8-16-18
<http://yoshizawa-akiko.jp>

